

『吟詠教本 律詩・古体詩篇(上)』の吟符等変更・訂正について

吟道研究委員会

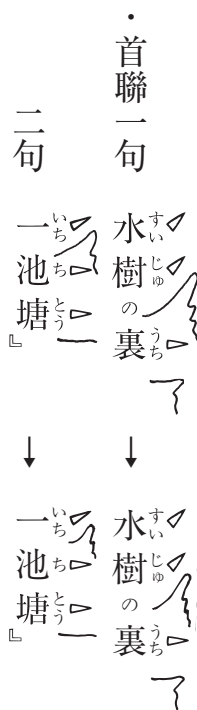
昨年度の標記吟詠教本下巻にかかる吟符等の変更・訂正に続き、上巻につきましてご案内いたします。講座を通じて既にお知らせ済みのものもありますが、詩全体の吟調を検討して変更したものです。

軽微なもの以外を左記に掲載いたしますので、確認・変更等をお願いいたします。なお、従来の表紙がビニール製の六版(平成28年9月30日)につきましては、新たに表紙が紙製(七版)となります。

また、今般頒布のCDにつきましては、左記の内容はすべて対応しておりますので、この機会に最新版(七版)とご一緒にお持ちいただけますと便利です。

【余韻】全体の大ゆり、中高音等の余韻を書き直しています。(大きさの変更) また、押さえなどわかりやすさに配慮しました。

例 3頁「春日山荘」有智子内親王



【読み・吟符等の変更】

1 3頁「春日山荘」有智子内親王 頷聯四句 「澗に隠るる」 ↓ 「澗に隠るる」 尾聯七句 「更に知る」 ↓ 「更に知る」 八句 「生涯何を以てか」 ↓ 「生涯何を以てか」	2 11頁「艸山遠眺」元政 首聯二句 「艸山の」 ↓ 「艸山の」 頷聯三句 「放牛処処」 ↓ 「放牛処処」 尾聯八句 「夕暉」読み「せきき」 ↓ 「せつき」	3 19頁「寧楽懷古」太宰春台 首聯一句 「古帝城」 ↓ 「古帝城」 頸聯六句 「閑花」 ↓ 「閑花」 尾聯八句 「呦呦として野鹿鳴く」 ↓ 「呦呦として野鹿鳴く」
---	--	--

4 23頁「夏日閑居」服部南郭 首聯二句 「端無くも」 ↓ 「端無くも」 頷聯四句 「遺世」 ↓ 「遺世」 「華胥」読み 「かしよ」 ↓ 「かしよ」 頷聯六句 「牀」読み 「しよう」 ↓ 「しよう」 尾聯七句 「暑天厭わず」 ↓ 「暑天厭わず」 八句 「首を」 ↓ 「首を」	5 27頁「閑遊」大窪詩仏 頷聯六句 「是れ年を」 ↓ 「是れ年を」	6 31頁「一の谷懷古」梁川星巖 頷聯五句 「憶う昔満宮去鷁を悲しみ」 ↓ 六句 「飛鴻に問わんと」 ↓ 「飛鴻に問わんと」 尾聯八句 「塹樹」 ↓ 「塹樹」
--	--	--

7 35頁「磯原客舎」吉田松陰 首聯二句 「熱し」読み 「ねつし」 ↓ 「ねつし」 頷聯四句 「巨鼈」 ↓ 「巨鼈」 頷聯五句 「我吾が軍を提げ来たて此に陣す」 ↓ 「我吾が軍を提げ来たて此に陣す」 ※『吟道』平成26年10月号で訂正掲載 尾聯七句 「滅す」読み 「めつす」 ↓ 「めつす」	8 39頁「墨水秋夕」安積良斎 頷聯三句 「半ば老いて」 ↓ 「半ば老いて」 四句 「白雁」 ↓ 「白雁」	9 43頁「夜歩く」広瀬旭荘 頷聯四句 「風入りて」 ↓ 「風入りて」 尾聯八句 「安くにか一杯の温を得ん」 ↓ 「安くにか一杯の温を得ん」
---	--	---

10 47頁「南村夜帰 油井某の韻に和す」大槻磐溪 頷聯三句 「半峰」 ↓ 「半峰」	11 51頁「月を詠む」文武天皇 頸聯五句 「水下りて」 ↓ 「水下りて」	12 55頁「鹿苑寺に宿す 王維の旧第なり」雪村友梅 頷聯三句 「短綃」 ↓ 「短綃」 頸聯五句 「側ちて」読み 「そばだちて」 尾聯八句 「帰らば会わん」 ↓ 「帰らば会わん」	13 59頁「幽居即事」石川丈山 首聯一句 「人世」 ↓ 「人世」 二句 「常に唧」 ↓ 「常に唧」	14 63頁「間興」頼春風 頷聯四句 「残雨」 ↓ 「残雨」 尾聯八句 「前泉を汲む」 ↓ 「前泉を汲む」
---	--	--	--	---

15 67頁「初春鹿浜吟舎に過ぎる」野村篁園 首聯一句 「梅を探る約を」 ↓ 「梅を探る約を」 頸聯五句 「補うこと」読み 「おぎなうこと」 尾聯八句 「長く此に煙霞を弄するに」 ↓ 「長く此に煙霞を弄するに」	16 71頁「無題」佐久間象山 首聯二句 「誰か能く」 ↓ 「誰か能く」 頸聯六句 「自ずから略有り」 ↓ 「自ずから略有り」	17 75頁「独酌して詠を成す」斎藤拙堂 首聯一句 「人間世」 ↓ 「人間世」 頷聯四句 「花落つるも」 ↓ 「花落つるも」 尾聯八句 「亦深林」 ↓ 「亦深林」
--	---	--

18	79頁「春風」大沼枕山 領聯四句「只だ」↓「只だ」 尾聯七句「又來たりて」↓「又來たりて」
19	89頁「綦母三に寄す」李頎 頸聯六句「西嶺の」↓「西嶺の」 尾聯八句「君が」↓「君が」
20	97頁「中書舍人賈至の早に大明宮に朝すに和し奉る」岑參 頸聯五句「花は劍佩を迎えて」↓「花は劍佩を迎えて」
21	101頁「韋員外の家の花樹の歌」岑參 首聯二句「去年の人は」↓「去年の人は」 領聯四句「掃うこと」読み「はらうこと」 ↓「はらうこと」
22	105頁「早に大明宮に朝して両省の僚友に呈す」賈至 頸聯五句「劍佩の聲は」↓「劍佩の聲は」 尾聯八句「君王」読み「くんおう」 ↓「くんのう」

23	109頁「曲江」杜甫 首聯一句「春衣を」↓「春衣を」 尾聯八句「相賞し相違うこと莫かれと」 ↓「相賞し相違うこと莫かれと」
24	117頁「闕下裴舍人に贈る」錢起 尾聯七句「送り仮名「遇はず」」↓「遇わず」 八句「華簪に對するを」↓「華簪に對するを」
25	121頁「感懷」劉長卿 首聯二句「黃菊の」↓「黃菊の」 頸聯五句「命を卜して」↓「命を卜して」 尾聯七句「笑う」読み「わらう」↓「わらう」
26	137頁「早雁」杜牧 頸聯六句「豈に春風を逐つて」↓「豈に春風を逐つて」 尾聯八句「菰米多く」↓「菰米多く」

27 141頁「野望」王績 首聯二句 「徙倚として」 頸聯五句 「犢を駆って」 尾聯八句 「采薇を懷う」	28 145頁「從軍行」楊炯 頸聯六句 「風多くして」 尾聯八句 「作るに勝れり」	29 149頁「春夜友人に別る」陳子昂 頸聯五句 「高樹に」	30 153頁「晋陵の陸丞の早春遊望に和す」杜審言 尾聯七句 「歌う」読み 「うたう」	31 157頁「洞庭に臨む」孟浩然 首聯二句 「虚を涵して」 尾聯八句 「魚」ふり仮名 「うを」	32 161頁「終南山」王維 頸聯六句 「陰晴」
---	---	---	--	--	---

33 165頁「蜀に幸して西のかた劍門に至る」玄宗皇帝 首聯一句 「雲に横たわりて」 領聯三句 「合し」読み 「がつし」 頸聯五句 「旗を縈りて」 尾聯八句 「嗟爾す」	34 169頁「塞下の曲」李白 首聯二句 「花無くして」 領聯三句 「笛中」 頸聯六句 「宵の眠りには」 尾聯八句 「直ちに為に」	35 173頁「太原早秋」李白 頸聯六句 「心は飛ぶ」
--	---	--

38 185頁「旅夜懷いを書す」杜甫 首聯二句 「危」^き「檣」^{しやう} ↓ 「危」^き「檣」^{しやう} 頷聯四句 「月」^{つき}「湧」^わ ↓ 「月」^{つき}「湧」^わ	37 181頁「秦州雜詩」杜甫 首聯二句 「魚」^{ぎよ}「海」^{かい} ↓ 「魚」^{ぎよ}「海」^{かい} 頸聯五句 「西」^{せい}「極」^{きよく} ↓ 「西」^{せい}「極」^{きよく} 六句 「月」^{つき}「は」 ↓ 「月」^{つき}「は」	36 177頁「秋宣城の謝朓の北樓に登る」李白 首聯二句 「山」^{やま}「曉」^あ ↓ 「山」^{やま}「曉」^あ 頷聯四句 「双」^そ「橋」^{きう} ↓ 「双」^そ「橋」^{きう} 頸聯六句 「秋」^{しゅう}「色」^{しよく} ↓ 「秋」^{しゅう}「色」^{しよく} 尾聯八句 「臨」^{のぞ}「んで」^{しやこう}「謝公を懷」^{おも}「わんとは」 ↓ 「臨」^{のぞ}「んで」^{しやこう}「謝公を懷」^{おも}「わんとは」
--	---	---

42 201頁「古原草を賦し得て別れを送る」白居易 尾聯八句 「萋」^{せい}「萋」^{せい}「として」 ↓ 「萋」^{せい}「萋」^{せい}「として」	41 197頁「独游」元稹 首聯一句 「侶」^{りよ} ↓ 「侶」^{りよ} 二句 「且」^{しばら} ↓ 「且」^{しばら} 頷聯四句 「酒」^{さけ}「を接」^と「は」 ↓ 「酒」^{さけ}「を接」^と「は」	40 193頁「夏日觀農樓に登りて崔使君に和す」皎然 頸聯六句 「幽」^{かす}「かに聞」^き ↓ 「幽」^{かす}「かに聞」^き	39 189頁「岳陽樓に登る」杜甫 首聯二句 「今」^{いま}「上」^{のぼ} ↓ 「今」^{いま}「上」^{のぼ} 尾聯八句 「軒」^{けん}「に憑」^よ「りて」 ↓ 「軒」^{けん}「に憑」^よ「りて」	頷聯五句 送り仮名「著われんや」 ↓ 「著れんや」 六句 「老」^{ろう}「病」^{びやう} ↓ 「老」^{ろう}「病」^{びやう}
---	---	--	---	--